



地域や保育施設の実情を踏まえた特色ある遊びの例

町ぐるみでの健康づくりの取組



どんな
地域?

「運動好きな子供を育む」ために
町全体で運動促進に取り組む

東郷町では、子供たちが高齢になったときを考え、平成23年度から町立保育園に勤めるすべての保育者に「幼児の運動指導研修」を始めました。平成24年度からは、町立保育園の年長児に運動指導を始めるなど、健康づくりに取り組んでいます。

ねらいと活動展開のポイント

地域の人材を活用し運動遊びを促進

地域の人材を活用し、指導者の保育施設への派遣や、親子体操教室の開催など、町ぐるみで運動遊びの充実に努めています。

保護者に情報発信、家庭でも共有

体を動かして遊ぶことを習慣化するには、保護者への情報発信が大切です。保育施設での運動遊びの様子や活動量などの調査結果を家庭にも伝え、保護者と連携し、共に育てる姿勢を大切にしています。

どんな
取組?

東郷町の幼児期運動促進の取組

「子供が健康で元気になれば、50年60年先に東郷町が元気に活力のある町となる」という思いのもと、運動好きな子供を育むため、町全体で健康づくりに取り組んでいます。

●町オリジナルの運動

各世代に合わせて開発された体操や体をリラックスさせる「ホグユルッサ」という準備運動を作りました。「いつでも・どこでも・だれもが」気軽にできる健康づくりを推進しています。



げんき体操



ホグユルッサ

●指導者の派遣

地域の人材を活用し、運動指導員を保育施設に派遣。保育者と一緒に、子供たちの運動促進に取り組んでいます。



新聞紙を使つたいろいろな遊び



●そのほかにも、保育者研修・運動能力測定・日常身体活動調査・親子体操教室・保護者アンケートなどを行っています。

自治体
担当者の
声



「町ぐるみで成長していくように」

運動好きな子供を育むためには連携が必要です

- このプロジェクトを始めてから、骨折など転んでがをする子供が少くなりました。保育者も講習会で学んだことを実践し、適切な声かけができるようになっています。親子で運動遊びを行うことで、家庭でも運動を行う時間が増えています。

東郷町立諸輪保育園（愛知県）

幼児数：99名 職員数：26名（平成28年1月28日現在）

四季折々の変化に富み、自然と触れ合う遊びが多い。町内の保育施設と連携し、運動遊び研究会を実施。

